



飛騨っ子

令和4年12月21日 発行 NO10
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
 家庭教育推進専門職：水口 悟
 TEL：0577-33-1111（内線 235）
 E-mail：mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



自分のことが好きになる



1 高山市立国府中学校 学校行事参加型 自立心 家族の大切さ



- 日時 令和4年11月17日(木)
- 主催 国府中学校PTA研修委員会
(高山市学ぶPTA推進事業を活用)
- テーマ 人生の選択肢を増やす
チョコ&ベンによる歌とピアノのライブ

・自分のことが好きになれる生き方

コロナ禍が続く中、すてきなホールですてきなコンサートが開催されました。チョコさんとベンさんの音楽は、力強くて広い！それは、これ

までのチョコさんの生き方にあるのかもしれませんが。チョコさんのお父さんはアフリカのコンゴ出身のミュージシャン、お母さんは富山県出身の人形作家です。(国府中 PTA 案内文より)チョコさんは高校生になるまで、容姿などから心ない言葉を言われることが多くなり、コンプレックスを抱き、お母さんに言う言葉は「もっと普通に生まれたかった」が口癖となった時期があったそうです。そんな時、お母さんは「あなたの言う‘普通’とはどんな子のこと？」と、真正面から話をしてくれたそうです。

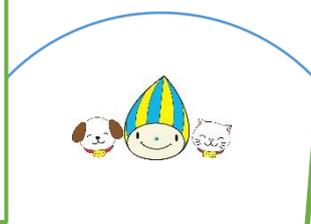
チョコさん曰く「今、自分が嫌いな人は、どんな自分だったら好きになれるかを考えてほしい。いろいろな考え方があることに会うことが大切。私は、ステージに立っているシンガーになれたら自分を好きになれると思い、努力をしてきました。その努力を積み重ねていくと、だんだん楽しくなりました。」

思春期真っ只中の子どもたちに向けたチョコさんのメッセージが、ベンさんの色彩豊かなパーカッション演奏とともに響いていました。

2 高山市立宮中学校 【在宅取組型】 自立心 家族の大切さ

現在の家庭教育を取り巻く状況

子育ての情報が欲しい時期が「子供が中学生の時期」が最も多く、「子供が小学生の時期」は低い傾向にあります。



宮中だより 磨く 高山市立宮中学校 令和4年度 第7号 令和4年10月20日

シリーズ 家庭教育を考える②

～思いやる姿が子どもの思いやりを育みます！～

- 親が思いやる姿を見せる
親が、自分の親に感謝して大切にする姿を見せたり、広く他人を思いやる姿を見せたりするよう心がけると、子どもに思いやる心が育ちます。
- 規範意識を高める言葉かけ
よいことは褒め、いけないことは注意する(行為を否定しても人格は尊重する)。いじめや差別は、人として助すべき行為であることを教え、小さないじめでも、早期発見・早期対応をすることが大切です。
- 挨拶・大好き・ありがとう
「一緒に食事をし、家族で挨拶を交わす」「あなたが大好き、思いやりのある人になってほしい」「優しい言動にありあとうと言う」ことが、悩みを相談できる家族関係を築きます。

学校だよりを通して、一年間の学校生活の流れや成長に合わせ、各家庭へ「今、どう声をかけたり見守ったりするとよりよいのか」についての情報を届けることは、家庭における豊かなコミュニケーションを生み出すことにつながります。子どもたちの非認知能力(数値では表されない姿:例黙々と取り組むなど)や自己肯定感をともに高めるポイントとなります。

< ‘学校だより’より 抜粋 >

3 下呂市いのちのふれあい講座 下呂市内の5年生 地域みんなで家庭教育!

下呂市のNPO団体を中心に取り組まれている「いのちのふれあい講座」は、市内の中学3年生(17年目)のみならず小学校5・6年生にも発展して取り組まれ、今年度で4年目となります。受付でいただいた資料には、指導案や実践カード、講座前後のアンケート調査等が綴じられており、地域の子どもを取り巻く大人関係者が綿密に協働的に、かけがえのない自他の存在(=命)についてメッセージを投げかけています。



◇ テーマ 自己肯定感を高め、自他の存在(=命)を大切にできる子どもを育てよう

○下呂市立竹原小学校(5年生)11月14日(月) 学校行事参加型+在宅取組型 命の大切さ



<子育てママさんからのお話>

子育てで大切にしていることは、同じ目線で向き合い、嬉しいことも嫌なことも対等に伝えるということです。子どもとの約束はしっかり守ります。後でと言ったら、必ず後で約束事を果たします。(子育て中のお母さんより)

初めて赤ちゃんの人形を抱っこして、赤ちゃんの重さを知りました。本当の赤ちゃんは動くから、抱っこするのはもっと大変なんだろうと思いました。(児童)



<赤ちゃん人形を抱っこ>

お腹が大きくなるのが嬉しくて、どんな名前が良いかたくさん考え、生れてくるのが待ち遠しかったのを覚えています。大変なときもあつたけど、可愛くて可愛くて…もうすぐ11歳。これからの成長も楽しみだよ。(保護者)

赤ちゃんを育てるときが来たら、この授業を思い出したい…(児童)

○下呂市立下呂小学校(5年生)12月1日(木)

学校行事参加型+在宅取組型 命の大切さ

「自分がここにいる、今、存在していること自体が尊いこと」です！わが子は、何があっても可愛い！大事に思ってくれている人がいる！ということを忘れないでほしいです。(子育て中のお母さんより)

私は、朝おかあさんとけんかをしてしまいます。今日の話聞いて明日からは、けんかせずに学校に行きたいです。私を産んでくれてありがとう。(児童)

お母さんも、いつもイライラして怒ってしまっごめんね。…お母さんこそ、私のところに生まれてきてくれてありがとう。あなたがここにいるのは当たり前じゃなく、あなただからなんだからね!誰にもかわることができない唯一の私の宝物です。本当に私たちのところに生まれてきてくれて、ありがとう!(保護者)



<子育てママさんからのお話>



<助産師さんからのお話>